

passo



ぱっそ

020



2010/1.1-1.31

A HAPPY
NEW
YEAR!!

up!



工賃倍増プロジェクトとは

授産施設等で働く人たちの工賃を5年間で倍増しようという大阪府のプロジェクトです。「もっと収入を」「もっと働く機会を」という願いを実現するため、施設、企業、地域をつないでいきます。

*この表紙は、「画淡路希望の家」の林順二さんと前田泰宏さんが描いた絵を構成したものです。

うちの Ko-chin 倍増計画！

「うちの ko-chin 倍増計画」では、昨年もいろんな施設を訪問させていただきました。

1年をふりかえって、最も印象に残る言葉は“地域とのつながり”です。

多くの施設が、地域とのつながりを法人（団体）の理念・目的の達成の為に必要なものと考えています。障がい者にとって生きやすい地域社会をつくりたいという思いや、障がい者が一般就労をめざすために地域社会と積極的に関わるという思いです。

施設まるごと地域社会に参画しよう！

地域社会の担い手として、地域から必要とされる存在でありたいという思いを持つ施設も少なくありません。施設それ自体が丸ごと地域社会に参画し、その一員として地域の人たちと互いに応援・協力し合うことです。喫茶やコミュニティスペースなど地域住民に居場所やギャラリーを提供したり、リサイクルショップを提案したり、文化教室を開催するといった例も目につきます。信頼関係を築いていく中で、地域の事業所等と協力して仕事をシェアしあう事例もありました。

こうしてみると、“地域とのつながり”が今日のキーワードになっていることがわかります。施設が単にモノを作つて売るという機能だけではなく、地域社会の中で本質的な役割を持っていて、それをめざす取り組みがいよいよ活発になっているということでしょう。“地域とのつながり”は、工賃アップを含めた施設の機能強化を図るものとしてこれからもっと注目していくべき視点ではないでしょうか。今年もそんな有意義な取り組みをたくさん紹介していきたいと考えています。

「仕事（役割）」がもたらす自信と誇り！

地域とつながる効果としては、授産製品の売上げの向上そのものより、利用者さん自身の仕事に取り組む姿勢の変化、モチベーションの向上をあげる施設が多いようです。元々は自主製品作りなどなるべく利用者さんが無理なく取り組めるものをと考えてはじめられるのですが、地域との結びつきによって利用者さんに仕事への自信や誇りが持てるようになるというのです。こういったことは、とくに利用者さん自身が販売に関わる場面でよく感じられることだと思います。

第19回 カフェ

今月のお出かけカフェは「アート作品」をテーマに豊中市にある「おかまちコミュニティカフェ kitto（きっと）」で開催しました。ゲストスピーカーは、“ワークセンターとよなか”的吉施設長とアート部門を担当する橋本さんです。

“ワークセンターとよなか”では、もともと下請作業が中心でしたが、納期が厳しく、利用者さんのリズムに合わない部分があつて、何かオリジナルの商品を！と、利用者が描かれた絵をモチーフとする商品の開発を始めたそうです。この商品には一目見ただけで、“ワークセンターとよなか”的商品とわかるものがたくさんあります。そういう定番商品を作ることで、印象強い商品を作ることができると、宣伝効果もありますね。商品は以前はバザーなどで販売していましたが、あまり売れなかったそうです。そんな時、偶然通りがかった雑貨などを置いてあるおしゃれなカフェに飛び込んで営業！！



すると、展示会の開催や商品販売を快く受け入れてもらい、それ以降は、販売する場所を選び、小物が好きな方が集まるアートマーケットや、雑貨も置いているカフェなどで販売しているそうです。

“ワークセンターとよなか”では商品管理もきっちりされています。それぞれの商品を写真に撮って個体番号をつけ、その商品が「いつ」「どこで」売れたかを管理しています。それをデータ化することで、売れ筋商品を把握することができるし、今後の商品開発の参考にもできます。

後半は、“山ざる組ちっぷり”（大阪市）の太田さんにも取り組みをお話しいただきました。参加された方々もそれぞれの商品を手に取り、熱心に質問されていました。

2009年12月16日（水）
5施設 8人参加



第20回カフェ
2010年1月21日（木）
堺市役所
本館地下1階 多目的室

いよいよコラボだ！受発注！！

募集

シャープ(株) 企業内出店

出店場所 八尾工場 食堂内
出店日 2月～（月1、2回）
販売時間 11：30～13：30
販売物品 パン・クッキーなど
※2階へは階段を使用。

お申込みは、工賃引上げ計画シート提出済みの施設
作業所が対象となります。

1月末〆切



シャープ出店風景

この2年間、私たち受発注コーディネーターはたくさんの企業と作業所の間を往復し、さまざまな仕事を納めてきました。その結果、企業様から信頼をいただき、今では多くのリピート発注につながっています。こうした土台を基に、今年は企業と作業所が一緒に何かを築くコラボレーションの年にしたいと考えています。つまり、企業様に作業所の現状を見ていただき、ニーズに対応できる作業環境を企業と作業所と私たちコーディネーターが一緒になって創り上げていく、という新しい受発注のカタチです。作業所さんにとって初めてのことや厳しいハードルが幾つもあります。でも、そのハードルを越えると、他ではできない仕事の獲得につながり、企業にとってなくてはならない必要な作業所となるはずです。

実は、こんなコラボをすでに始めています。まだ、途上ですが、企業と作業所の担当者が何度も互いに出向きながら作業環境を創り上げています。私たちでは気づかなかない可能性を企業様が見つけたり、作業所さんも企業とつきあうマナーや契約などに戸惑いながらも、今、ひとつずつハードルを越えています！

2010年 工賃プロジェクトの新たなステージ！

大阪の工賃の伸び率は全国第3位!!

2年前、府内各地のタウンミーティングで始まった工賃プロジェクト。府内事業所（B型事業所+授産施設）の月額平均工賃は18年度7,990円、19年度8,448円、20年度9,130円と順調に上昇し、厚生労働省によると大阪府の伸び率は全国第3位です。（平成19年度比）

現在までに工賃引上げ計画を策定した施設は268。カフェによる経験交流、経営コンサルタント・技術指導者の派遣を通じて各施設を応援すると共に、受発注コーディネーター事業では、企業や大学での出張販売、自主製品の販売、下請仕事の受注等、新たな販路開拓に成功しました。また、府庁売店のパン屋さん、クッキープロジェクト、インクカートリッジ回収仕分事業等、共同受注の取組みが前進するなど、2年間の取組みは大きな足跡を残しています。

2010年。何かと厳しさが身にしみるご時世ですが、これを社会の転換期ととらえれば、活路も見えてきます。「当事者だからこそ見えるニーズがある」と言いかけるのは、ある作業所の若きリーダー。障がいがあるからこそ感じる「生きにくさ」、「やってみたいこと」をヒントに、喫茶店や配食サービス、清掃、アート等の新事業を次々に開拓しています。

暮らしに密着したニーズの発掘と事業化は、作業所の強みを活かせる分野です。

地域の中小企業や商店街、農業、福祉や医療の現場で、障がいのある人たちがいきいきと活躍する

障がい者が地域社会の担い手として巨歩を築く

企業とのコラボで環境にやさしく人にやさしい
大阪ブランドが次々に誕生する

2010年をそんな時代の幕開けにしようではありませんか。大阪の元気は「工賃プロジェクト」から！！

☆☆掲示板☆☆

『第4回 UNIVERSAL BAKING CUP』

～パン・菓子つくりコンテスト～

パン・焼き菓子部門で “グーチョキパン屋さんの
さつま芋ブレッド”が銀賞を受賞！！

平成15年に始まり、2年に1回開催されているこのコンテストも今年で4回目をむかえ、本年度は21の都道府県から32施設が参加しました。パン部門では第1次書類審査、第2次の公開審査を経て、8施設が本大会へと進み、11月28日(土) 横浜市国際フード製菓専門学校で開催された本大会にて、(社福)さつき福祉会就労支援センターみち(グーチョキパン屋さん)の“さつま芋ブレッド”が見事、銀賞を受賞しました！

審査は、完成品の試食、外観、内層、話題性、物語性、製造工程、利用者のかかわり度などを総合的に評価。いずれも高いレベルで審査員は慎重に選考されていました。



※第3回大会では、(社福)つむぎ福祉会 ポンチセビリカが「チームワーク賞」を受賞しています。

『第6回大阪府授産製品コンペティション』

めざそう栄冠！！一作るから創るへー

受賞作品発表！

平成21年度、大阪府授産製品コンペティションは、縫製、陶芸、紙製品、木工、雑貨、食品(製菓・製パン)の6部門に103作品が応募、12作品が受賞しました。

★大阪府知事賞 マット

(社福)光輝会 隆光学園 輝きステーション

★府社協会長賞 スイートポテトパン

(社福)つむぎ福祉会 ポンチセビリカ

★優秀賞 干支 寅の置物

(社福)あおぞらの会 あおぞら作業所

★優秀賞 一輪挿し箸置き

(社福)池田めばえ福祉会 東山作業所

★優秀賞 ベーグルサンドキャンドル+ミニチュア

(社福)徳風会 とくふうホーム

※上記のほか、審査員特別賞として6作品が受賞。



丸尾亮好

こちら編集部

工賃倍増計画推進事業も3年目を迎えました。

この不景気の中、たくさんの企業の方にお世話をなり、たくさんの施設・作業所の皆さんと一緒にこの事業に取り組んでこれたのは私たちの誇りではないかと思います。この事業では、障がい者の「働く場を作る支援」と名付けて、共同受発注事業を構築し、障がい者の多様な働き方を皆さんと一緒にご提案できる仕組みを作っていました。カフェでは、いつも皆さんの自信作や日頃の活動を見せていただき私たちスタッフも元気をもらっています。



お問い合わせ先

大阪府工賃倍増計画推進事業運営主体：大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（愛称：エル・チャレンジ）

大阪市中央区北新町2-12 北新町センタービル3階 TEL: 06-6949-3551 FAX: 06-6920-3522

<http://www.l-challenge.com/>

<http://www.l-challenge.com/kouchin/index.html>

